

**子どもを見守り交通事故を防ぐ  
春の交通安全県民運動 街頭立哨**

4月6日～15日、春の交通安全県民運動が実施され、9日は市長や副市長、教育長らが街頭に立ち、子どもたちの登校を見守りました。班長を先頭に元気に登校。新1年生も登校班に加わり、黄色いカバリーのランドセルを背負ってお兄さんお姉さんについて行く初々しい姿が見られました。春は交通事故の多い季節です。歩行者も運転者も交通ルールを順守し、事故撲滅に取り組みましょう。



**雪の山中を登って出会った花の群生地  
御堂森イワウチワ鑑賞トレッキング**

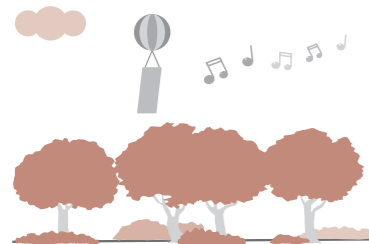
4月18日、細野地区の山「御堂森」でイワウチワ鑑賞トレッキングが開催されました。今年は雪解けが遅く、豪雪による倒木もあつて、いつもは車で通行できる登山口までの道も歩き、例年より1時間以上時間をかけての登山となりました。雪に足をとられながら急な坂道を登り、ようやくたどり着いたイワウチワの群生地。足元に咲く可憐な花が、息も絶え絶えの体と心をいやしてくれました。



▲イワウチワは雪解け後の広葉樹林の中や岩場などに咲く日本固有種。御堂森の群生地では、登山道の両脇に似た淡いピンク色の小さな花が、枯れ葉の間からたくさん顔をのぞかせています。

**徳良湖築堤100年展  
6月1日まで開催中**

芭蕉、清風歴史資料館で開催中です。100年前の大正8年当時の設計書や地形図、写真が展示されています。なぜ現在のお金で数十億円の経費をかけてまで徳良湖は造られたのか、資料館に足を運んで答えを探してみてください。



**おばなざわ  
日記 Diary**

※撮影のため一時的にマスクを外している写真があります。

**聖火リレートーチ展示  
桜ゴールドに輝く曲線美**

4月11日～13日、市役所に東京オリンピック・パラリンピック聖火リレートーチが展示されました。ランナーから次のランナーに炎を渡すために使用されるトーチは、長さ71センチ、日本人なじみ深い桜をモチーフにしており、先端の断面が桜の花びらのようにデザインされています。貴重なトーチを一目見ようと市民が訪れ、桜ゴールドと桜ピンクに輝くそれぞれのトーチを鑑賞しました。



**今年も田んぼアート復活！  
福原小5年生が種まき体験**

4月27日、福原小5年生が、田んぼアートに使用する4種類の苗の種まき作業を体験しました。福原ふるさと塾のメンバーが講師となり、それぞれの種から4色の稲が育つことを教えてもらおうと、「種の中身はどれも白いの?」「種類によって種の形が違うのは?」「なぜ鋭い質問が飛び出し、お米ができる最初の過程を学びました。5月26日には育った苗を田植え体験する予定です。



**第65回 県縦断駅伝  
疾走！北村山チーム**

大会2日目の4月28日、尾花沢中継所となった市役所付近に市民が詰めかけました。選手が駆け抜ける度に、声援代わりの大きな拍手でランナーを応援。力強く走り、たすきをつなぐ姿に圧倒されました。北村山チームには、武田将樹選手、佐藤海斗選手、加藤亮太選手、梅本柊生選手(6年)の4人の本市出身選手が出場。第13区を走る加藤選手が尾花沢中継所に近づくと、一層熱い拍手が送られました。



▲尾花沢中継所で最後の力を振り絞り次の選手へたすきをつなぐ加藤選手(写真左)。

**新結成「尾花沢ドリームボーイズ」  
ライオンズクラブがユニフォーム寄贈**

市内4つの野球スポーツ少年が1つになった門出をお祝いしようと、尾花沢ライオンズクラブより新しいユニフォームがプレゼントされ、4月21日に宮沢小体育館で贈呈式が行われました。齊藤瑛太さん(6年)と齋藤悠さん(6年)は、「みんなで心を一つにして試合や練習を頑張ります」「一致団結して良い成績を残して恩返しします」とお礼の言葉を述べました。



▲明徳エラース・玉野トンネルズ・福原レッズ・尾小ボーイズが一つになって4月1日に新結成された野球スポーツ少年団「尾花沢ドリームボーイズ」。市内各地区の小学生26人で練習を頑張っています。